

2023-24年度 クラブ青少年奉仕合同委員長会議



2023-24年度

地区米山奨学委員長 魚谷健司



米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー独自の事業
(日本全国34地区の合同活動)
- 世話クラブ・カウンセラー
制度で交流を重視
- 日本で学ぶ外国人留学生を支援
(公益財団法人を設立し運営)

奨学事業 の目的

なぜ外国人留学生を
支援するのか

勉学又は研究のために来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする。



奨学事業 の使命

将来、日本と世界とを結ぶ
「懸け橋」となって国際社会で
活躍し、ロータリー運動の良き
理解者となる人材を育成すること

成功の鍵は
カウンセラー



米山奨学生の義務

4月
オリエンテーション
出席確約書に署名



毎月1回以上の
世話クラブ例会出席



世話クラブや地区の
行事へ参加、スピーチ

2月～3月
期間終了式
参加



奨学生は、採用地区に
所属し、世話クラブの
サポートを受けます

9月・2月
奨学生レポート
提出

- ・休学や出国には
届出が必要
- ・休学・出国期間
に制限あり

奨学生の義務は合格後
のオリエンテーションで
説明されます

米山奨学生の義務 こんな場合はどうする？



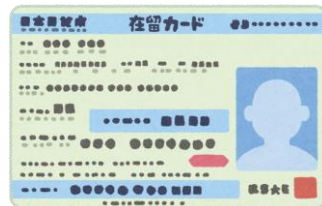
けが、病気



妊娠



育児
介護



在留資格
の変更

など..



学籍状況
の変更



不登校
心の問題



長期の
休学・出国・留学

奨学生の義務に関わる 変更の可能性が発生



**早急に地区または奨学会へ
お知らせください**

2022-23年度 寄付額

- 1. 寄付総額 14億2,300万円
- 2. 第2660地区個人平均寄付額
27,097円(全国2位)

本年度の当地区個人平均寄付
目標額は **30,000**円です。

クラブ創立記念特別寄付のお願い

学友会(元奨学生と同窓会組織)

学友同士のネットワーク作り、総会開催、交流イベント、海岸清掃
被災地支援、福祉施設訪問、奨学金支給等多様な活動をしています

国内：33

海外：10か国

台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル
スリランカ・マレーシア・ミャンマー・ベトナム



奨学生に関わる危機管理

自然災害



病気・事故



ハラスメント



地区米山奨学委員会→危機管理委員会へ報告・対応

地区単位
のLINE
グループ等

2020学年度
より現役奨学生
の傷害保険
(例会出席時)

奨学生
→ハラスメント
相談窓口

ロータリアン
→賠償責任保険

世話クラブ補助費について

▶補助費金額：**60,000円**(奨学生一人につき)

「世話クラブ補助費」は、奨学生を受け入れるための費用となります。その使途は以下となります。

【世話クラブ補助費使途】

1. 奨学生が例会に出席する際の昼食代
2. クラブ内行事、地区内行事の参加費用
3. ロータリー関係冊子(ロータリーの友等)、資料の購入代
4. その他

奨学期間終了後も交流を

- ◆ 終了後もクラブ行事に招いたり、週報を送るなどして連絡が途絶えないようにしてください

終了後も複数の連絡先を交換してください

- ◆ 学友になっても最新の連絡先を登録するようご指導ください。
⇒ 学友が奨学会ホームページの専用画面で登録します
- ◆ 奨学生終了後も、博士号を取得したら世話クラブ宛てに記念品が贈られます。
※ 博士号取得報告書と「学位記(写)」
または「学位取得証明書」の提出が必要です





ご清聴ありがとうございました。

